

# 再発見

# 歌麿

# まぼろしの雪

Rediscovery of Kitagawa Utamaro *Fukagawa in the Snow*

2014年  
4月4日(金) ~  
6月30日(月)

岡田美術館  
OKADA MUSEUM OF ART



喜多川歌麿 油川の雪(部分)  
江戸時代後期 19世紀初葉

# 再発見 歌麿「深川の雪」

Rediscovery of Kitagawa Utamaro *Fukagawa in the Snow*

2014年 4月4日(金) ~ 6月30日(月)

タテ 2m  
ヨコ 3.5m

喜多川歌麿「深川の雪」は、「品川の月」(米国・フリーア美術館蔵)、「吉原の花」(米国・ワズワース・アセニウム蔵)とともに、「雪月花」三部作として知られる歌麿肉筆画の最高傑作です。まず驚くのは、縦199cm×横341cmにも及ぶその大きさです。掛軸画では考えられない巨大な画面に、総勢27名の人物たちが生き生きと描かれており、晩年になってもなお衰えない歌麿の真価が発揮されています。「深川の雪」は、歌麿が栃木に滞在した際に制作されたと伝えられますが、長らく行方が分かりませんでした。実に66年ぶりの公開となる記念すべき展覧会を、ぜひご覧ください。



喜多川歌麿「深川の雪」 江戸時代後期 19世紀初頭

歌麿最大の掛軸にして幻の最高傑作、66年ぶりに箱根にて大公開!

# 再発見 歌麿「深川の雪」

Rediscovery of Kitagawa Utamaro *Fukagawa in the Snow*

## 歌麿「雪月花」三部作、箱根にて完結

「雪月花」のもっとも古い記録は、明治12年(1879)11月23日、栃木の定願寺における展覧に、当地の豪商・善野家が出品したというものです。「雪」と「花」は明治20年以前に美術商S.ピングが、「月」は明治24、5年頃に林忠正が購入し、いずれもフランスのパリへと渡りました。そして戦前、同地滞在中の浮世絵収集家・長瀬武郎が、パリ在住の日本人美術商から「雪」を買い求め、昭和14年(1939)に日本へ持ち帰りました。「月」と「花」はアメリカの美術館に収蔵されましたが、「雪」は昭和23年(1948)4月15日から銀座松坂屋で開催された「第二回浮世絵名作展覧会」にわずか3日間展示された後、行方が分からなくなったのでした。



### 講演会 再発見! 歌麿大画「深川の雪」

2014年5月25日回 午後1時～午後2時30分

講師: 小林 忠(岡田美術館 館長)

会場: 5階ホール 参加費: 無料(要入館料) 定員: 先着80名

#### 【お申込み方法】

電話にてお名前・お申込み人数・ご連絡先をお知らせください。定員に達し次第、応募を締め切らせていただきます。

【電話番号】0460-87-3931(岡田美術館代表)

#### 館長によるギャラリートーク

2014年4月9日(日)、5月21日(日)、6月11日(日)

#### 学芸員によるギャラリートーク

2014年4月11日～6月27日の毎週金曜日

いずれも  
午前11時～  
申込不要  
参加無料  
(要入館料)

開館時間: 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

※会期中 休館日なし

入館料: 一般・大学生 2,800円 小中高生 1,800円

※団体割引あり(10名以上)

※障害者手帳をお持ちの方 (1)ご本人のみの場合 1,800円

(2)介護者ありの場合、ご本人は通常料金、付添の方は無料

美術館ご利用の方は、駐車場・足湯入湯料が無料です。

### アクセス

(電車・バスをご利用の場合)

新宿駅から  
小田急線(特急ロマンスカー) → 箱根湯本【約90分】  
①伊豆箱根バス(のりば①)・箱根登山バス(のりば②) → 小涌園【約20分】  
②箱根登山鉄道 → 小涌谷【約35分】  
伊豆箱根バス・箱根登山バス → 小涌園【約2分】

東京駅から  
東海道新幹線「こだま」 → 小田原【約35分】  
伊豆箱根バス(のりば⑤)・箱根登山バス(のりば③) → 小涌園【約40分】

(お車をご利用の場合) ※所要時間は、交通状況によって大きく異なります。

東名厚木IC → 小田原厚木道路 → 箱根IC → 国道1号線 → 岡田美術館【約60分】

東名御殿場IC → 国道138号線 → 宮ノ下 → 国道1号線 → 岡田美術館【約40分】

